

令和7年12月17日

# 交 通 事 故 概 況

令和7年11月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

# 北海道の交通事故概況(11月末計上数(確定数))

## 1 令和7年11月末の交通事故発生状況

区分\内容	11月中	11月末	
		前年比	前年比
発生件数(件)	735	-29	7,527
死者数(人)	13	7	116
傷者数(人)	841	-17	8,722
			-586

[過去10年、11月中11月末の推移]

区分\年別	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	過去平均	
											10か年	
11月中死者数	17	22	15	15	15	11	15	13	15	6	14	12
11月末死者数	168	144	137	129	140	126	110	109	119	91	127	111
年間死者数	177	158	148	141	152	144	120	115	131	104	139	123

R7年
13
116

都道府県別(11月中)

順位	1	3	4	5
都道府県名	大阪	埼玉	愛知	北海道
死 者 数	16	15	13	12

都道府県別(11月末)

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	東京	神奈川	北海道	大阪	千葉
死 者 数	123	119	116	112	105

## 2 交通死亡事故の発生状況(主なもの)

### (1) 11月中の死亡事故(死者13人)

- 事故類型別：人対車両が6人(46.2%)、正面衝突が5人(38.5%)
- 道路別：国道が7人(53.8%)、市町村道が4人(30.8%)、
- 地形・道路形状別：市街地直線、非市街地カーブが各々4人(30.8%)
- 発生時間別：14～16時が4人(30.8%)、16～18時、20～22時が各々2人(15.4%)
- 第一当事者年齢別(第一当事者原付以上)：高齢運転者による死者が5人(38.5%)、若年運転者、50歳代運転者、60～64歳の運転者による死者が各々2人(15.4%)
- 第一当事者違反別(第一当事者原付以上)：前方不注意が7人(53.8%)、操作不適が3人(23.1%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が11人(84.6%)

### (2) 11月末の死亡事故(死者116人)

- 事故類型別：
  - ・車両単独が40人34.5%（うち操作不適が18人45.0%、前方不注意が14人35.0%）
  - ・人対車両が30人25.9%（うち前方不注意が13人43.3%、歩行者妨害が8人26.7%）
  - ・正面衝突が22人19.0%（うち操作不適、前方不注意が各々9人40.9%）
- 道路別：
  - ・国道が47人40.5%（うち正面衝突が17人36.2%、車両単独が13人27.7%）
  - ・市町村道が30人25.9%（うち人対車両が11人36.7%、車両単独が8人26.7%）
  - ・道道が29人25.0%（うち車両単独が10人34.5%、人対車両が9人31.0%）
- 地形・道路形状別：
  - ・市街地交差点が31人26.7%（うち人対車両が14人45.2%、自転車対車、出会い頭が各々5人16.1%）
  - ・市街地直線が25人21.6%（うち人対車両、車両単独が各々9人36.0%）
- 発生時間別：
  - ・8～10時が17人14.7%（うち出会い頭が5人29.4%、正面衝突が4人23.5%）
  - ・14～16時が15人12.9%（うち正面衝突、車両単独が各々6人40.0%）
  - ・16～18時が15人12.9%（うち車両単独が4人26.7%、正面衝突が3人20.0%）
- 第一当事者年齢別(第一当事者原付以上)：
  - ・高齢運転者による死者が40人34.5%（うち車両単独19人47.5%、正面衝突が10人25.0%）
  - ・50歳代運転者による死者が24人20.7%（うち人対車両、車両単独が各々6人25.0%）
- 第一当事者違反別(第一当事者原付以上)：
  - ・前方不注意が39人33.6%（うち車両単独が14人35.9%、人対車両13人33.3%）
  - ・操作不適が28人24.1%（うち車両単独が18人64.3%、正面衝突が9人32.1%）
- 死者年齢別：
  - ・高齢者の死者が64人55.2%（うち人対車両が21人32.8%、車両単独が20人31.3%）
  - ・50歳代の死者が17人14.7%（うち車両単独が7人41.2%、正面衝突が5人29.4%）
- シートベルト非着用者：
  - 自動車(二輪を除く)乗車中の死者55人中、シートベルト非着用者は23人(41.8%)であり、そのうち16人(69.6%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

### (3) 方面別発生状況

11月中の死者数は札幌方面が8人(61.5%)、旭川方面3人(23.1%)、釧路方面、北見方面が各々1人(7.7%)となっている。

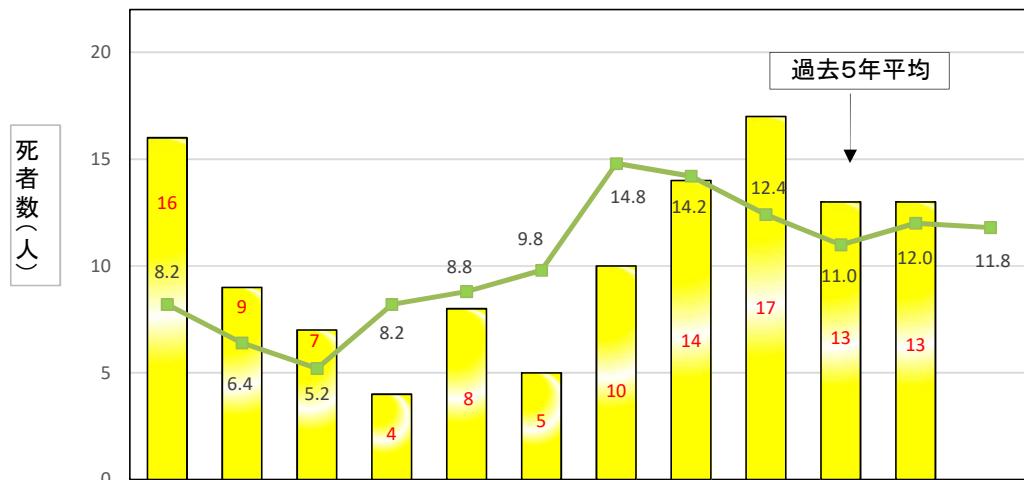
11月末の死者数は札幌方面が59人(50.9%)、釧路方面が23人(19.8%)、北見方面が15人(12.9%)、旭川方面が13人(11.2%)、函館方面が6人(5.2%)となっている。

方面別＼区分		発生件数		前年比		死者数		前年比		傷者数		前年比			
11 月 中	全道	735	-29	13	7	841	-17	11 月 末	全道	7,527	-380	116	25	8,722	-586
	札幌方面	541	-28	8	5	628	-12		札幌方面	5,493	-342	59	12	6,355	-544
	函館方面	60	10			67	8		函館方面	549	56	6	2	673	73
	旭川方面	63	-1	3	2	69	-4		旭川方面	658	-13	13	-1	755	-32
	釧路方面	59	5	1	-1	63	8		釧路方面	621	-83	23	4	706	-69
	北見方面	12	-15	1	1	14	-17		北見方面	206	2	15	8	233	-14

### (4) 月別発生状況の推移

11月中の死者数は13人で過去5年平均12.0人を上回っている。

11月末の死者数は116人で過去5年平均111.0人を上回っている。



区分＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	16	9	7	4	8	5	10	14	17	13	13		
年間累計	16	25	32	36	44	49	59	73	90	103	116		116
過去5年平均	8.2	6.4	5.2	8.2	8.8	9.8	14.8	14.2	12.4	11.0	12.0	11.8	122.8
累計平均	8.2	14.6	19.8	28.0	36.8	46.6	61.4	75.6	88.0	99.0	111.0	122.8	

### (5) 都道府県別死者数

11月中は大阪府、埼玉県が各々16人で最も多く、次いで愛知県が15人、北海道は13人で4位となっている。

11月末は東京都が123人で最も多く、次いで神奈川県が119人、北海道が116人で3位でとなっている。

区分＼都道府県	大阪	埼玉	愛知	北海道	茨城	静岡	神奈川	兵庫	東京	千葉	全国
11月中死者数	16	16	15	13	12	12	10	10	9	9	252
ワースト順位	1	1	3	4	5	5	7	7	9	9	—
前年比	5	3	4	7	2	-2	3	-1	-5	-4	4
増減率(%)	45.5	23.1	36.4	116.7	20.0	-14.3	42.9	-9.1	-35.7	-30.8	1.6

区分＼都道府県	東京	神奈川	北海道	大阪	千葉	埼玉	愛知	兵庫	福岡	茨城	全国
11月末死者数	123	119	116	112	105	103	99	86	74	74	2,257
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	9	—
前年比	-7	23	25	4	-16	6	-27	-11	-9	-12	-119
増減率(%)	-5.4	24.0	27.5	3.7	-13.2	6.2	-21.4	-11.3	-10.8	-14.0	-5.0

### 3 死亡事故の特徴

#### (1) 道路別

国道が47人(40.5%)、市町村道が30人(25.9%)、道道が29人(25.0%)。

- ・国道は、非市街地カーブが14人(29.8%)、非市街地直線が12人(25.5%)

- ・市町村道は、市街地交差点が14人(46.7%)、市街地直線が11人(36.7%)

- ・道道は、市街地交差点7人(24.1%)、非市街地交差点、非市街地直線が各々6人(20.7%)



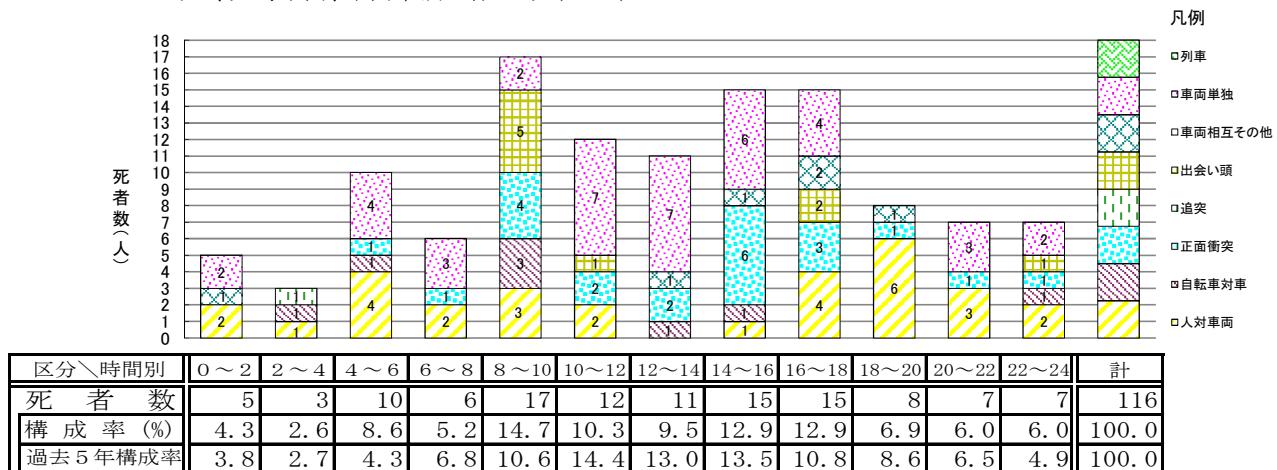
#### (2) 時間別

8~10時が17人(14.7%)、14~16時、16~18時が各々15人(12.9%)となっている。

- ・8~10時は、出会い頭が5人(29.4%)、正面衝突が4人(23.5%)

- ・14~16時は、正面衝突、車両単独が各々6人(40.0%)

- ・16~18時は、人対車両、車両単独が各々4人(26.7%)



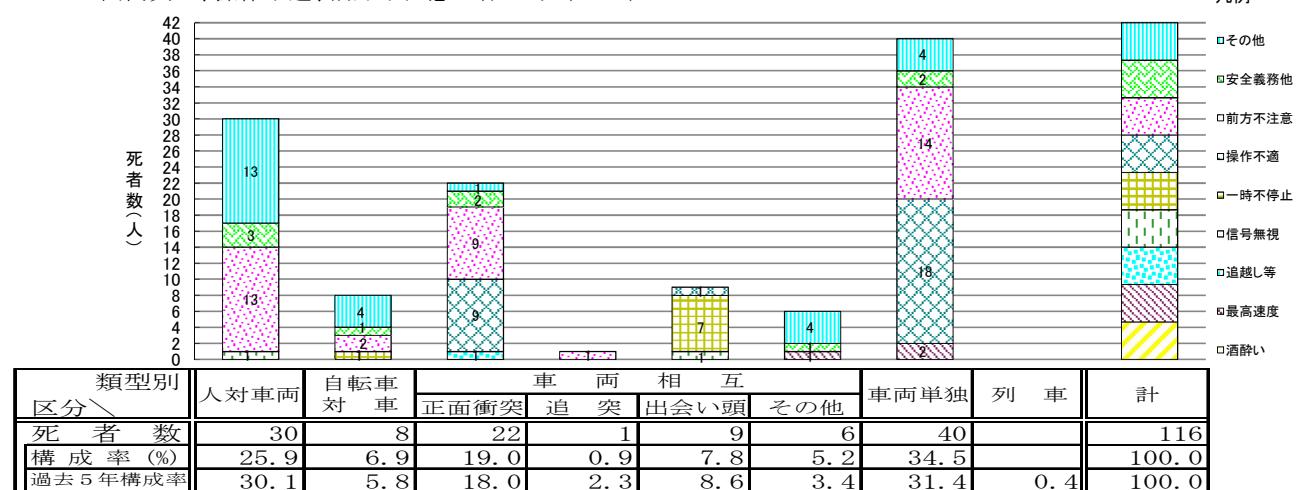
#### (3) 事故類型別

車両単独が40人(34.5%)、人対車両が30人(25.9%)、正面衝突が22人(19.0%)となっている。

- ・車両単独は、操作不適が18人(45.0%)、前方不注意が14人(35.0%)

- ・人対車両は、前方不注意、その他(歩行者妨害が含まれる)が各々13人(43.3%)

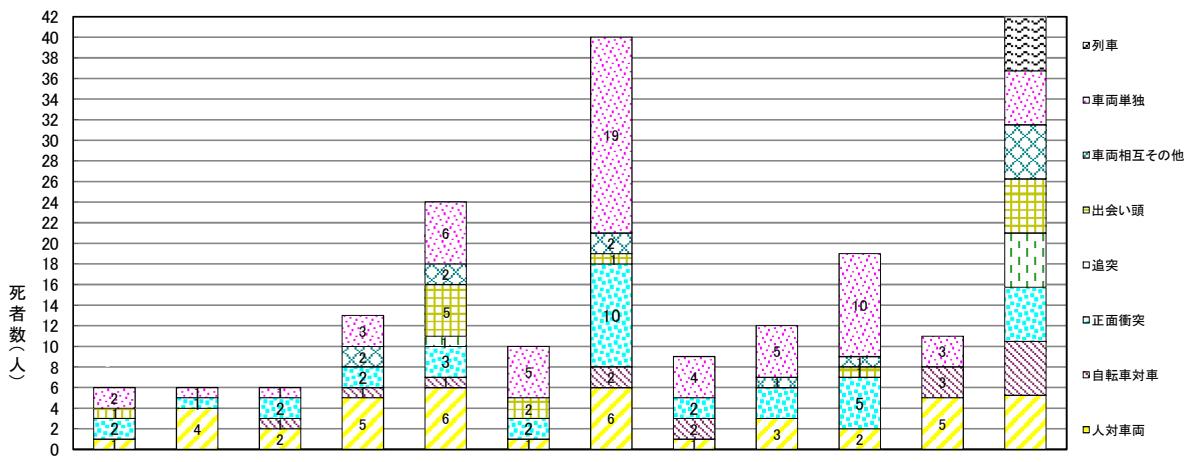
- ・正面衝突は、操作不適、前方不注意が各々9人(40.9%)



#### (4) 第一当事者の年齢層別:

- 高齢運転者が40人(34.5%)、50歳代の運転者が24人(20.7%)となっている。  
 ・高齢運転者は、車両単独が19人(47.5%)、正面衝突が10人(25.0%)  
 ・50歳代の運転者は、人対車両、車両単独が各々6人(25.0%)

凡例

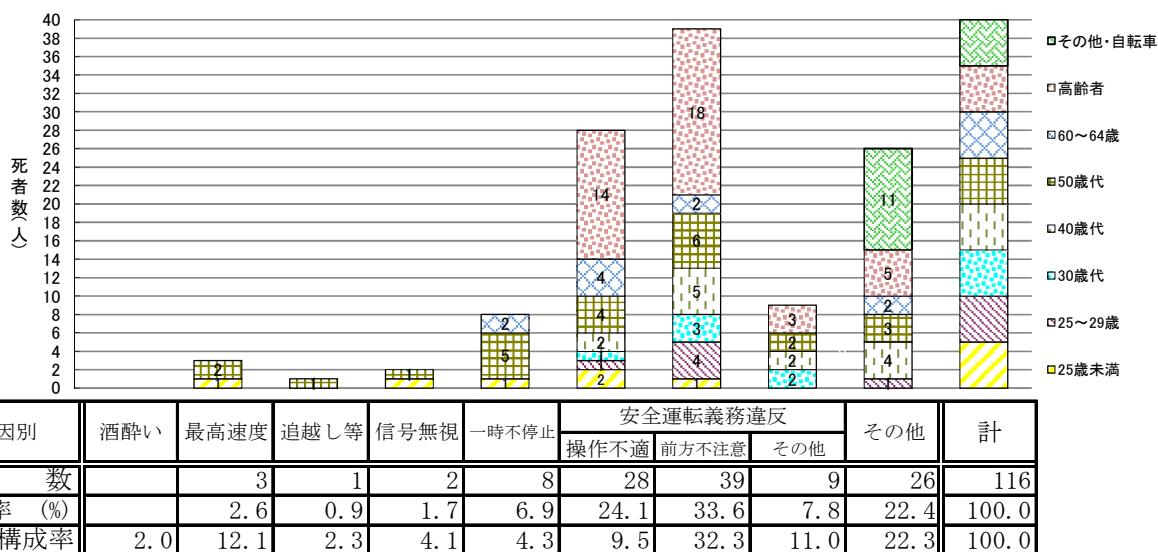


#### (5) 第一当事者の違反

前方不注意によるものが39人(33.6%)、操作不適によるものが28人(24.1%)となっている。

- 前方不注意は、高齢運転者による死者が18人(46.2%)、50歳代運転者による死者が6人(15.4%)
- 操作不適は、高齢運転者による死者が14人(50.0%)、50歳代、60~64歳の運転手による死者が各々4人(14.3%)

凡例

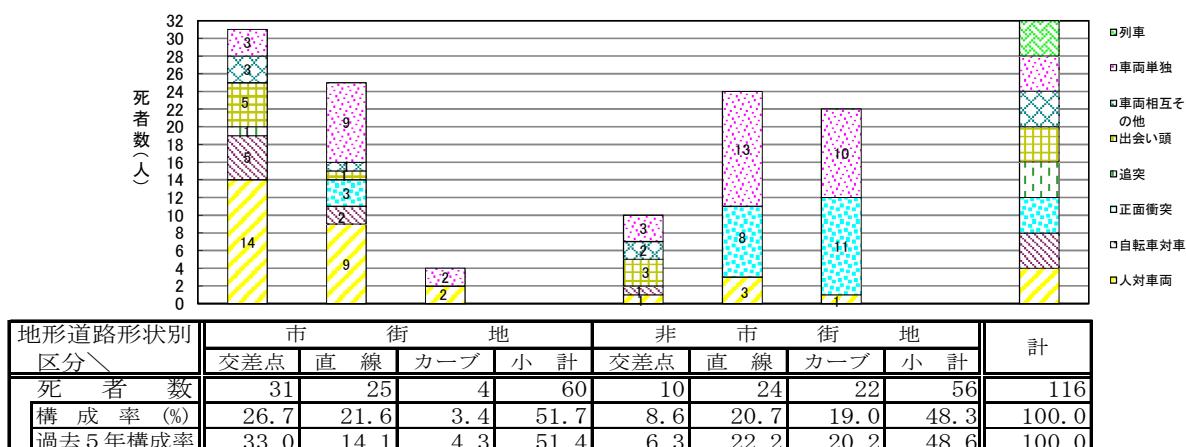


#### (6) 地形・道路形状別

市街地交差点が31人(26.7%)、市街地直線が25人(21.6%)となっている。

- 市街地交差点は、人対車両が14人(45.2%)、自転車対車、出会い頭が各々5人(16.1%)
- 市街地直線は、人対車両、車両単独が各々9人(36.0%)

凡例

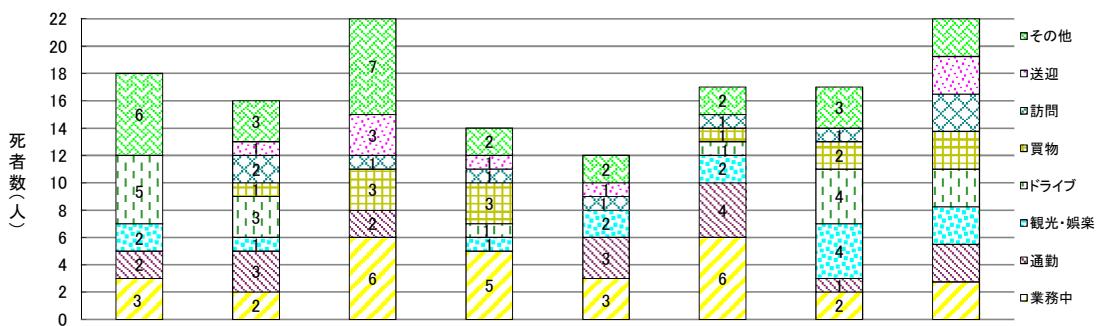


## (7) 曜日別

火曜日が22人(19.0%)、日曜日が18人(15.5%)となっている。

- 火曜日は、業務中が6人(27.3%)、買物、送迎が各々3人(13.6%)
- 日曜日は、ドライブが5人(27.8%)、業務中が3人(16.7%)

凡例

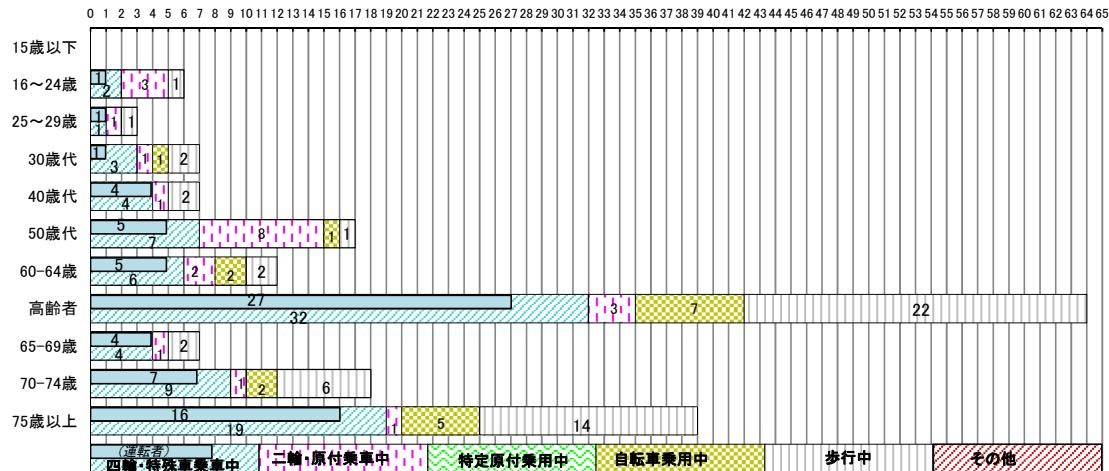


## (8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者数が64人(55.2%)、次いで50歳代の死者が17人(14.7%)となっている。

四輪乗車中の死者数が55人(47.4%)、次いで歩行中の死者数が31人(26.7%)となっている。

死者数(人)



状態別＼年齢層別	四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
								構成率	5年構成率
15歳以下	死 者 数								2.3
16～24歳	死 者 数	2	3			1		6	5.2
25～29歳	死 者 数	1	1			1		3	2.6
30歳代	死 者 数	3	1		1	2		7	6.0
40歳代	死 者 数	4	1			2		7	6.0
50歳代	死 者 数	7	8		1	1		17	14.7
60～64歳	死 者 数	6	2		2	2		12	10.3
高齢者	死 者 数	32	3	7	22			64	55.2
65～69歳	死 者 数	4	1			2		7	6.0
70～74歳	死 者 数	9	1		2	6		18	15.5
75歳以上	死 者 数	19	1		5	14		39	33.6
計	死 者 数	55	19	11	31			116	100.0
	構 成 率	47.4	16.4	9.5	26.7			100.0	—
	過去 5 年構成率	47.0	15.0	7.2	30.5	0.4		100.0	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

## (9) シートベルト着用状況別

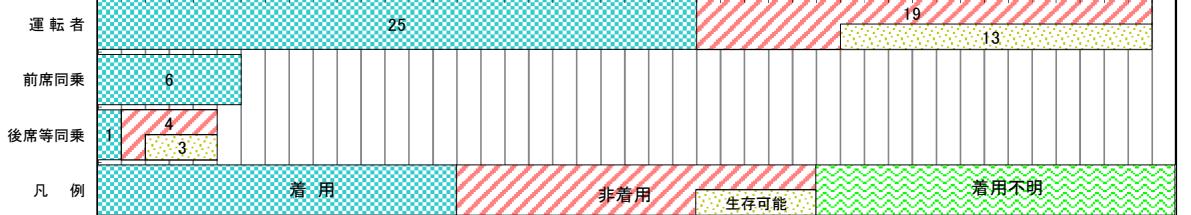
### ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者55人中、シートベルト非着用者は23人(41.8%)となっている。

非着用者の23人のうち16人(69.6%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。

死者数(人)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45



区分	四輪 乗車中 等	着 用			非 着 用			着用 不 明
		計	運転者	同乗者	計	運転者	同乗者(助手席)	
令和7年	55	32	25	6	1	23	19	13
構成率(%)	100.0	58.2	78.1	18.8	3.1	41.8	82.6	68.4

### イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が15人(65.2%)となっている。

区分＼年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
	ベルト着用	1	2	3	6	3	17	2	7	8		32
構成率(%)	3.1	6.3	9.4	18.8	9.4	53.1	6.3	21.9	25.0			100.0
	8.7	4.3	4.3	4.3	13.0	65.2	8.7	8.7	47.8			100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。

高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

### ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者23人の損傷加害部位をみるとハンドルが6人(26.1%)、ドア・窓が5人(21.7%)となっている。

区分＼部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
	ベルト着用	1	6	2	1	3			5	2	10	2	32
構成率(%)	3.1	18.8	6.3	3.1	9.4			15.6	6.3	31.3	6.3	100.0	
	8.7	4.3	4.3	4.3	13.0	65.2	8.7	8.7					100.0
ベルト非着	2	1	6	1		5		1	2	2		3	23
	8.7	4.3	26.1	4.3		21.7		4.3	8.7	8.7		13.0	100.0
運 転 者	2	1	6	1		3		1	2			3	19
	8.7	4.3	26.1	4.3		13.0		4.3	8.7			13.0	82.6
同 乗 者						2				2			4
						8.7				8.7			17.4

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。

但し、ベルト非着用の運転・同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

## 4 冬型交通事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和6年度及び7年度(ここでは令和6年11月～令和7年11月)の計上は次のとおり。

年度区分		死 者 数						(死者数 人)
		11月	12月	1月	2月	3月	計	
令和7年度	死亡事故	13						13
	冬型事故	3						3
	ズリップ	3						3
	視界不良							
	わだち							
令和6年度	死亡事故	6	13	16	9	7		51
	冬型事故	1	5	2	5	2		15
	ズリップ	1	5	2	4	2		14
	視界不良					1		1
	わだち							
	その他							